


●最近の県内経済

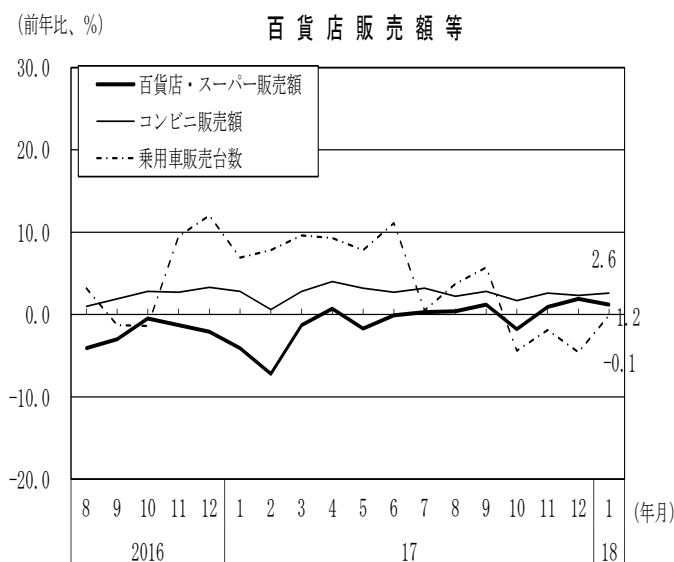
基調判断
(2018年1月を中心として)



今月の概要

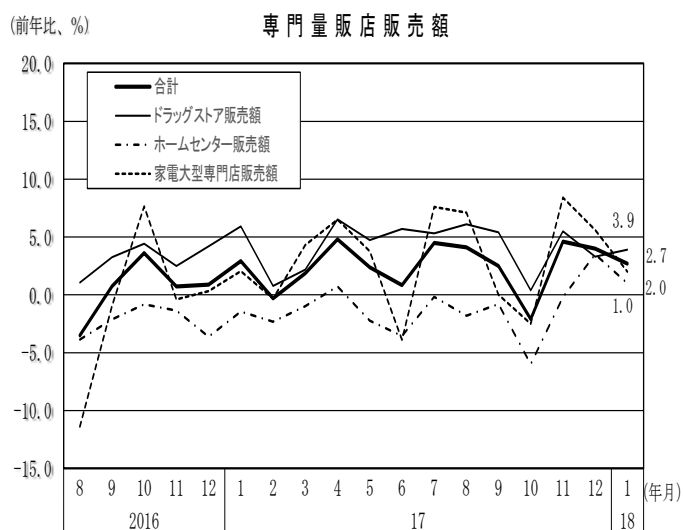
県内景気は緩やかに回復している。

1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

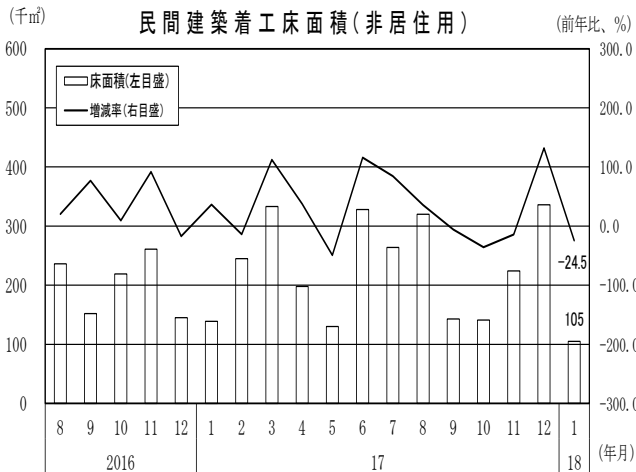
1月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、845億円で前年比1.2%増加した。百貨店は同4.1%減少したが、スーパーは、飲・食料品の増加から、同2.7%増加した。コンビニ販売は同2.6%と増加を続けている。乗用車販売(軽含む)は、同0.1%減と減少した。内訳をみると、軽乗用車が同9.8%増加したものの、普通車が同0.1%減少し、小型車が同9.3%減と引き続き減少した。



(資料) 経済産業省

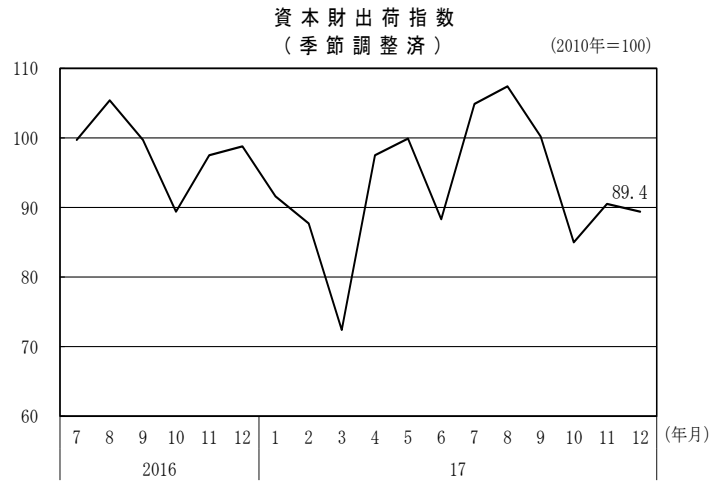
1月の専門量販店販売額は、618億円で同2.7%と3か月連続で増加した。内訳をみると、ドラッグストアは、300億円で同3.9%と好調に推移し、家電大型専門店は、生活家電、情報家電などを中心に、164億円で同2.0%と3か月連続で増加した。ホームセンターも154億円で同1.0%と増加している。

2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

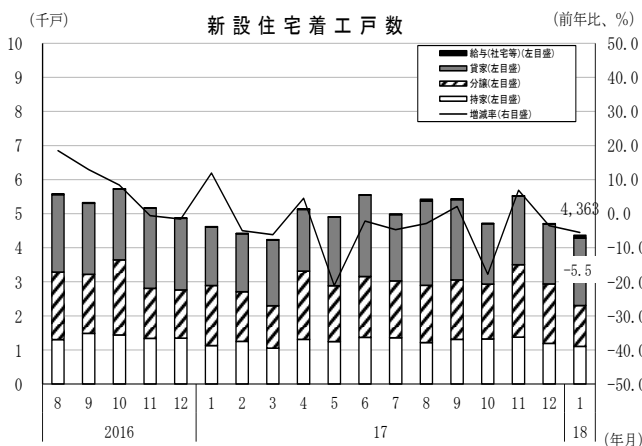
1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、105千㎡で前年比24.5%減少したが、1月までの年度累計で前年同期比18.5%増加している。1月単月を用途別にみると、店舗、病院・診療所が増加したものの、事務所、工場及び作業場、倉庫などが減少した。



(資料)埼玉県

12月の資本財出荷指数(季節調整済)は、89.4で前月比1.2%低下した。

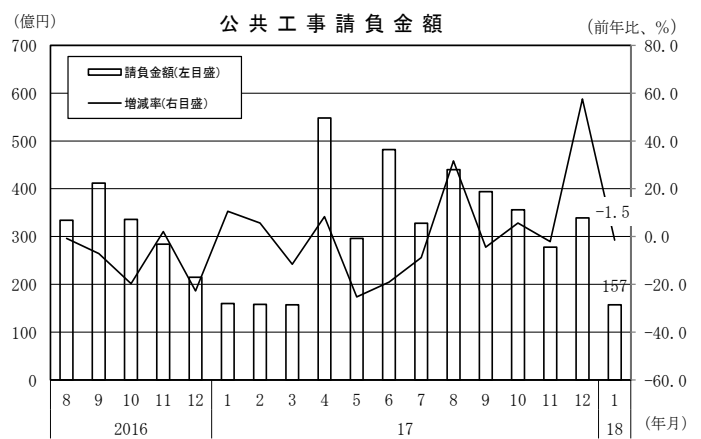
3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

1月の新設住宅着工戸数は、4,363戸で前年比5.5%減少した。利用関係別にみると、貸家は1,977戸で同14.7%と増加したものの、持家は1,105戸で同2.0%減少した。分譲住宅も、戸建てが1,166戸で同8.4%減少し、マンションが33戸で同93.3%減少した。

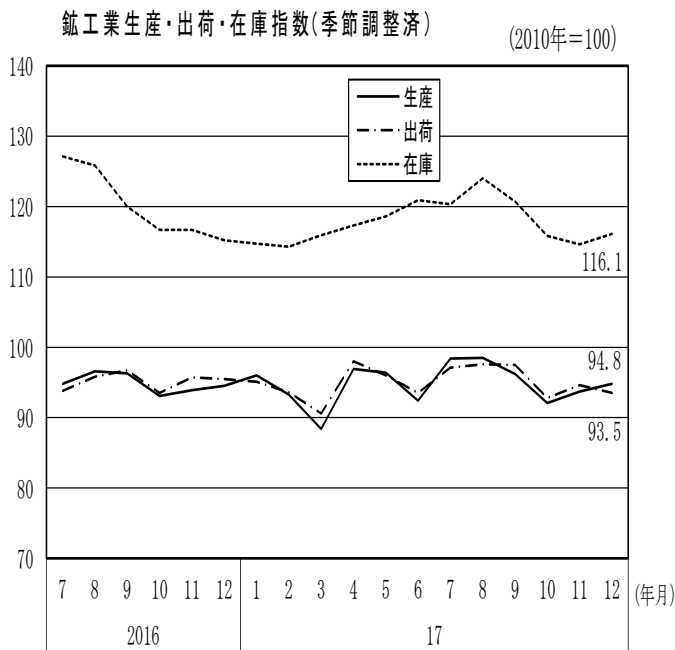
4 公共工事 緩やかな持ち直しの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

1月の公共工事請負額は、157億円の前年比1.5%減少した。発注者別でみると、独立行政法人等、県が減少したものの、国、市町村、地方公社などが増加した。

5 生産活動 持ち直しの動き

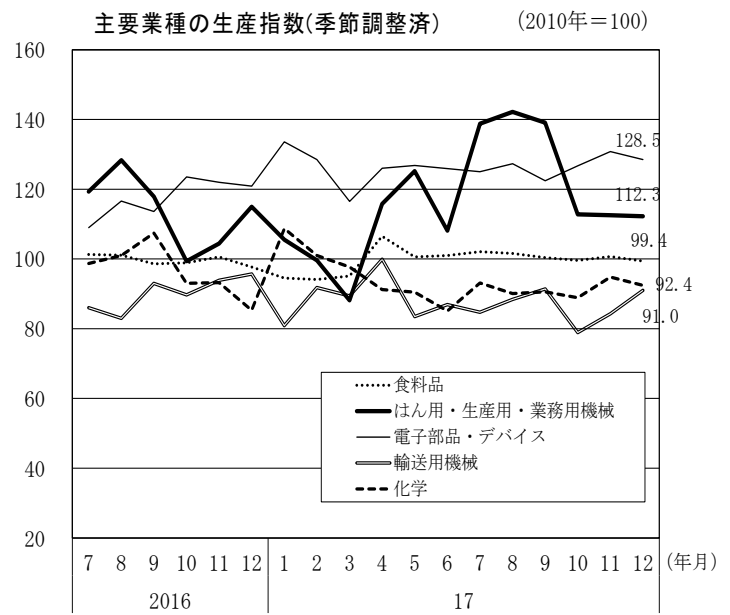


(資料)埼玉県

12月の生産指数(季節調整済)は、94.8で前月比1.2%と2か月連続で上昇した。生産用機械、化学、電子部品・デバイスなどが低下したが、輸送用機械(乗用車、自動車エンジン)、はん用機械(空気圧機器)、業務用機械(医療用機械器具)などが上昇した。

出荷指数(同)は、93.5で前月比▲1.2%と2か月ぶりの低下となった。プラスチック製品、業務用機械が上昇したが、化学(医薬品)、電子部品・デバイス(集積回路)、生産用機械(包装・荷造機械)などが低下した。

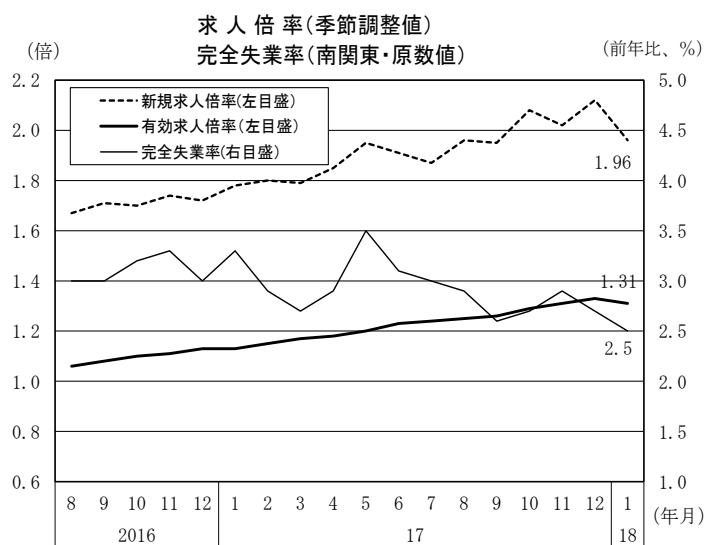
在庫指数(同)は、116.1で前月比1.3%と4か月ぶりの上昇となった。食料品、はん用機械が低下したが、輸送用機械(乗用車、輸送機械用エアコン)などが上昇した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、99.4(前月比▲1.3%)となり、2か月ぶりに低下したが、100近辺の水準で推移している。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、128.5(前月比▲1.8%)となり、3か月ぶりに低下したが、120台を維持している。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、112.3(前月比▲0.3%)となり、3か月連続で低下した。はん用・業務用機械が上昇したものの、生産用機械が低下した。
- ◆ 輸送用機械は、91.0(前月比+7.9%)となり、2か月連続で上昇した。
- ◆ 化学(同)は、92.4(前月比▲2.5%)となり、2か月ぶりに低下した。

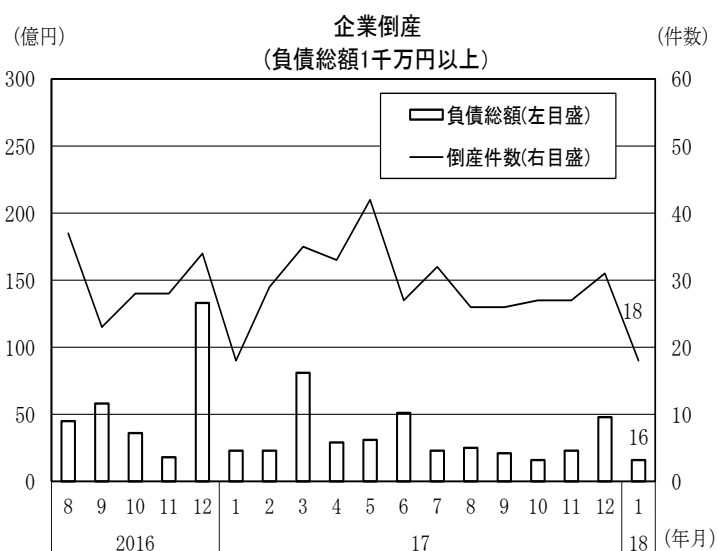
6 雇用情勢 着実に改善



(資料)厚生労働省、総務省

1月の新規求人倍率(季節調整済)は1.96倍で前月比0.16ポイント、有効求人倍率(同)は1.31倍で同0.02ポイントとともに低下した。一方、完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%と同0.2ポイント改善している。

7 企業倒産 低水準



(資料)帝国データバンク

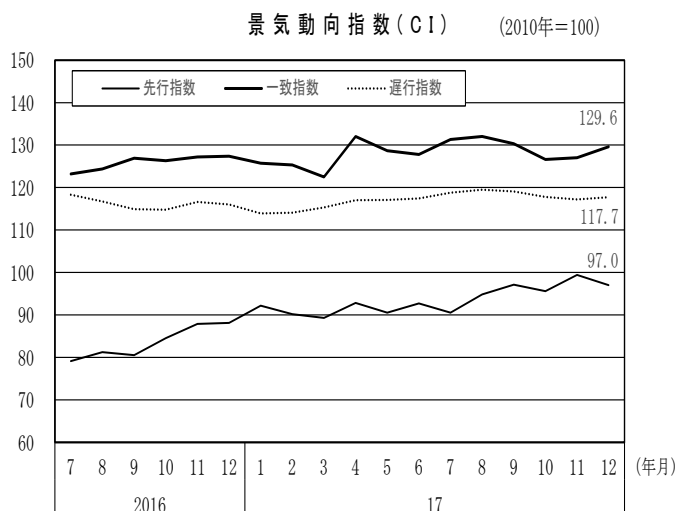
1月の企業倒産件数は、18件で前年比横ばいとなった。負債総額は、16億円で同7億円の減少となった。

業種別にみると、建設業が7件で最も多く、次いで製造業と小売業が各々4件、卸売業が2件、運輸・通信業が1件となっている。

要因別では、販売不振が16件で最も多くなっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI)：改善を示している



(資料)埼玉県

12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、129.6で前月比2.6ポイントと2か月連続で上昇した。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、97.0で前月比2.4ポイントと2か月ぶりに低下した。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、117.7で同0.5ポイントと4か月ぶりに上昇した。